

熱川温泉病院 ティダー・ライン / タン・タン・トゥエ (ケアワーカー・ミャンマー技能実習生)

功 績 昨年に続き母国の踊りを披露し、病院祭を盛り上げた功績。

推 薦 者 宮本 純代 (看護部長)

推 薦 理 由 一昨年末に当院に入職したミャンマー技能実習生の5人は、病院祭で母国の踊りを披露しました。1か月前から練習して演じた踊りは、日本人にとって珍しいもので観覧した患者さんに喜んでもらうことができました。特にペアで踊りを披露した2人は日常業務も熱心に取り組み、患者さんからも高い評価を頂いておりますので、是非この度の理事長賞にご推薦申し上げたいと思います。

内 容

9月20日に開催した「敬老の日・病院祭」に職員の出し物として、昨年に続きミャンマー技能実習生の5人が母国の踊りを演じましたが、まとめ役として引っ張ってくれたのがティダーさんとタン・タンさんです。2人は日頃から熱心に業務に取り組み、患者満足度調査でも日頃の明るい声掛けや丁寧なケアの実践が高く評価され、「外国人実習生の言葉遣いや態度がとても素晴らしい」とのフリーコメントを頂いております。

本番で披露してくれたのは2曲で、1曲目は『ウーシュエヨー・ドゥモー』で日本語に訳すと「男と女」。男女の恋愛を描いた伝統的な踊りで、男役のティダーさんが付け髷をつけ、恋人役のタン・タンさんとコミカルな踊りを披露してくれました。そして2曲目は『ヒェンタマーレ』。ミャンマーで毎年4月に行われる有名な「水掛け祭り」で親しまれているもので、4人の実習生がきらびやかな衣装で踊りました。病棟で観覧した患者さんは珍しい踊りに興味津々で、拍手したり笑ったり楽しそうな様子でした。出演後は病棟で患者さんと一緒に賑やかに会話したり、笑顔で記念撮影をしたりと思い出に残る時間を過ごして頂きました。

実行委員会からの出演のオファーを引き受けてからの1ヶ月間、業務終了後に自宅で練習を続けてきました。ティダーさんとタン・タンさんに出演後に苦労したことを聞きましたが、「全然大変なことはなかったです」「患者さんが喜んでくれたし、皆さんの前で踊れて楽しかったです」と話してくれました。新型コロナウイルスの感染対策のため2年続けてリモート開催の病院祭でしたが、彼女たちの活躍により例年に劣らず盛況のうちに終了することができました。

